

広報紙

## わたしの

# まぎくぼ

2023  
6月・7月

No.363  
5月30日発行

発行:荻窪地区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128

ホームページ <https://ogikubokyoougikai.sakura.ne.jp/>

荻窪地区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28~1/4

本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28~1/4



イベント紹介

## さいえんす縁日

「科学」を楽しもう!

※対象年齢:5歳~12歳

★日時:7月30日(日)午後1時~4時 ★会場:荻窪地区民センター

ビーワン万華鏡  
日時計を作ろう  
缶バッジを作ろう  
ポップコーンでミニ爆発だ!  
昆虫はおいしい?!  
こっぱ屋さんで木工  
お魚キャッチャー  
竹とんぼをつくって飛ばそう  
自然と遊ぼう!ネイチャー ゲーム  
スライム  
紙ひこうき大会  
しゃぼん玉であそぼう  
磁石であそぼう

[参加申し込み方法]  
往復はがき又は協議会HPより申し込み  
\*往復はがきの場合(1家族1枚)  
① 行事名:さいえんす縁日 ② 住所  
③ 参加者氏名(フリガナ) ④ 年齢  
⑤ 電話番号  
・児童(5~12歳)は3名まで連記可  
・未就学児は同伴保護者名を明記の上、  
〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20  
荻窪地区民センター協議会宛に  
申し込み(返信用の宛先も記入)  
\*協議会HPの場合(1家族1回)  
<https://ogikubokyoougikai.sakura.ne.jp/>  
・アクセスし、Webメールで申し込み  
●申し込み締め切り:7月16日(日)  
●結果のお知らせ  
・はがきの方は返信はがきで通知  
・協議会HPの方はメールで通知  
・申し込み多数の場合は抽選となります

参加費100円  
事前申し込み制  
定員:300名



※問い合わせ先:荻窪地区民センター協議会  
☎ 03-3998-9127

※イベント・講座等は変更になることもあります。  
※会場開設がないものは全て荻窪地区民センターが企画です。

10月  
7日(土)あそび市に出展 会場:松溪中学校  
29日(日)「おぎくぼセンター祭」

10月  
5日・12日・19日  
9日(土)地域交流会「みゆに亭カフェ」  
No.26  
12日(土)「講談鑑賞会」  
13日(日)「絵本読み聞かせ」  
14日(月)「大人のワイン講座」  
15日(火)「シンドウと地域懇談会」  
16日(水)「講師:曲子の執筆者 協力者」  
17日(木)「大人的絵本レッスン「素敵に生きるヒント」」  
18日(金)「広報誌わたしのおぎくぼ」

9月  
21日(土)「大人のワイン講座」  
22日(日)「講談鑑賞会」  
23日(月)「絵本読み聞かせ」  
24日(火)「シンドウと地域懇談会」  
25日(水)「講師:曲子の執筆者 协力者」  
26日(木)「大人的絵本レッスン「素敵に生きるヒント」」  
27日(金)「広報誌わたしのおぎくぼ」

8月  
12日(土)「講談鑑賞会」  
13日(日)「絵本読み聞かせ」  
14日(月)「シンドウと地域懇談会」  
15日(火)「講師:曲子の執筆者 协力者」  
16日(水)「大人的絵本レッスン「素敵に生きるヒント」」  
17日(木)「広報誌わたしのおぎくぼ」

7月  
30日(日)「さいえんす縁日」

7月  
1日(火)「講談鑑賞会」  
2日(水)「絵本読み聞かせ」  
3日(木)「シンドウと地域懇談会」  
4日(金)「講師:曲子の執筆者 协力者」  
5日(土)「大人的絵本レッスン「素敵に生きるヒント」」  
6日(日)「広報誌わたしのおぎくぼ」

6月  
1日(火)「講談鑑賞会」  
2日(水)「絵本読み聞かせ」  
3日(木)「シンドウと地域懇談会」  
4日(金)「講師:曲子の執筆者 协力者」  
5日(土)「大人的絵本レッスン「素敵に生きるヒント」」  
6日(日)「広報誌わたしのおぎくぼ」

これからのスケジュール

※本誌発行後にスケジュールが変更になる場合があります。最新情報は当協議会ホームページでご確認ください。



# 自ら楽しむと、 荻窪が盛り上がる!

シリーズ第2回は、OgiLOVE代表・檜枝光太郎(ひえだ・こうたろう)さんとイベント担当の町田恵子(まちだ・けいこ)さんに紹介文を寄せてもらいました。

「生きがいを原動力に、皆が心地よい社会をつくる」  
私たちOgiLOVE(おぎらぶ)の活動は、こんな言葉で表せるのかもしれません。

今年2月、会員の平田明夫さんが趣味で続けるギターを奏で、集まった人たちが自ら作った歌詞を口ずさみました。明るい調べに歌詞もピタリとハマりました。音楽に覚えのある人も、ない方も、そこに居た10人が一瞬で仲間になりました。ギターの平田さんは、カノン進行に合わせて即興の歌を披露するアトラクション「誰でもモーツアルト」によって、音楽を楽しんでもらう活動を続けています(^^♪)。



カノン進行を説明する「誰でもモーツアルト」のイラスト(平田さん作)

## ★「好きなコトをして地域とつながりたい！」

OgiLOVEは荻窪(杉並)を愛する仲間が集い、杉並区教育委員会の主催講座「大人塾荻窪コース」卒業生を中心に今年1月に発足した任意団体です。好きなコトで楽しみながら荻窪を盛り上げようと、会員が様々な夢を語り合い、かなえることを目指しています。私たちの夢のいくつかを紹介します。

## ★「みんなで楽しいお散歩！」



お散歩のコースを説明する会員の長谷川まさやさん

歴史・史跡を訪ねながら仲間と楽しくウォーキングをします。「荻窪のお散歩なら任せておけ！」という会員が案内するイベントです。

## ★「子どもも大人も楽しめる科学イベント！」

お父さんお母さんも参加してもらい、家族で樂

しめるイベントになります。

## ★「地域で支え合う情報を発信します！」

杉並で活動する人々の情報をホームページで発信、時にはコラボして活動する新しい形の取り組みです。

## ★「地域を盛り上げたい！」

公認会計士ら専門知識がある会員が講座を開き、地域を盛り上げる活動も計画をしています。

## ★「駄菓子屋をやりたい！」

「子どもたちが集う駄菓子屋をコミュニティのハブに育てたい」という声が出ています。地域の方々のご理解とご支援を得て、実現に近づけていきたいです。

## ★「田端神社の秋祭りを盛り上げたい！」

今年から地域団体「西田秋祭りの会」が秋祭りを主催します。この会に積極的にかかわり、地域の役に立ちながら、住民とつながりを深めていきます。

## ★「下手な横好きバザー」を！

売り手と買い手の顔が見えるバザーを定期的に開催して、地元を賑やかにします。

OgiLOVEは、このような夢を抱いた団体です。皆が心地よい社会に向けて「希望を持つ」ことから、幕が上がるを考えています。と一緒に楽しみませんか。



町田恵子さんと檜枝光太郎さん

## OgiLOVE(おぎらぶ)

住所:〒167-0032 杉並区天沼3-16-11-202(加藤会計内)

TEL:03-6795-6800(加藤会計)

ホームページ:<https://ogilove.com/> メール:ogilove2022@gmail.com

第29回

## 「荻窪の記憶」 こぼれはなし

## いたずら 悪戯っ子の天国

「荻窪の記憶」プロジェクトでは、発足以来、荻窪の昔を知る多くの方からお話を聞きしてきました。その最初の一人が、大正10年生まれで当時96歳、家業の自転車屋を営んでこられた万田勇さんでした。「昔話をすると元気が出てきちゃう」というその回想は多岐にわたりましたが、今回は、「悪戯っ子の天国」だったという荻窪にご案内しましょう。

ちなみに、万田さんが両親とともに新宿の淀橋から荻窪に引っ越してきたのは昭和3年。荻窪は農村から住宅地へと変わりはじめていたものの、まだまだ豊かな自然が残る「悪戯っ子の天国」だったといいます。「親戚の子がくると羨ましがるのよ」という「天国」の中心は何といっても善福寺川。「川の周りは田んぼ。ちょっと掘れば水が湧くから、魚は豊富だしね。田んぼに水引くんで堰があんじょ。堰は、子供の背が立つか立たないかの深さで、プールがないから、水遊びにはちょうどいい」というわけです。

子供たちは、どこに行けば、どんな魚が獲れるのか、精通していました。「近衛さんのところ、うろになってるところで、フナが手づかみでとれるのよ」「本村庵のあたり、水がきれいなところで、いまは北海道か四万十川にしかいないような巣をつくる淡水魚（トゲウオのこと）も、この辺に一杯いたですよ」「弁天池、この辺は何度も行った。蛇をとる、蛙をとる。あの辺から阿佐ヶ谷にかけては、赤貝とって皮剥いて食べたり、楽しいところだったな」。

冒険にはおあつらえむきの洞窟もありました。「アンサンブル（現在の荻窪税務署）の奥にね、大きな洞窟があったですよ。信仰の洞でしょうけどね、入ると怒られるんだけど、ローソクをもって入っていった」「三丁目の川の淵にも洞があったですよ。あの辺の畑に矢じりがたくさん落ちていた」。石の矢じりは縄文時代に集落があった証し。昆虫の世界も身近でした。

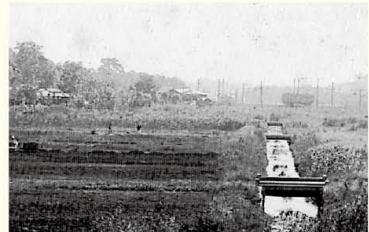
「宇田川さんの屋敷（かつて東信閣があったあたり）の一画なんて林で、朝早く行けばカブト虫がいくらでもとれた。白山神社はあったけど、宮司がいないしさ。悪戯っ子の遊び場だった。床下に入って、アリ取り（アリ地獄）を見たり」。

遊び場は町の中にもありました。現在のりそな銀行のあたりはずっと野原で、よく見世物小屋が建ったそうです。「いたずらっ子の傑作なのはね。よく見世物がかかるでしょ。テントの間から割り込んで入ると、コラッって怒られるでしょ。お尻から入っていくと、出ちゃだめだって押し込まれちゃう」。

天沼教会も子供たちにとっては遊び場でした。教会の周りがコンクリートで舗装されていたので、ローラースケートができるのです。そんな悪戯っ子たちも、毎年、11月ごろになると、日曜学校に通いました。「クリスマスにプレゼントをもらうため」でした。

万田さんが通っていた杉並第五小学校では野球も盛んで、昭和4年には東京少年野球大会で優勝しています。野球に熱心だったのは農家や商店よりもサラリーマンの子弟だったそうで、都市化の進展とともに、子供たちの世界も変わりつつあったようです。

荻窪地域区民センター協議会OB 松井和男



昭和初期の上荻窪、善福寺川と一両編成の中央線の電車が見える（宇田川家のアルバムより）

### 令和5年度定期総会を実施しました

4月25日(火) 荻窪地域区民センターにおいて当協議会令和5年度の総会が開かれました。

来賓をはじめ町会や商店会などの地域団体の代表約60名が出席、令和4年度の事業報告・決算報告と令和5年度の事業計画・予算案が承認され、また新しい協議委員9名が紹介されました。

恵羅会長からは「コロナ禍で閉塞感が定着した地域社会が再生に向けて再出発するのに呼応し、従来の企画の見直しを進め、内容のより一層の充実を図っていきます。」とのメッセージが発せられました。



協議会の委員（○：部長、○：副部長）		
役職・所属	氏名	住 所
会 長	恵羅 博	荻窪
副会長	杉浦 和子	荻窪
	熊谷 伸成	宮 前
会計監事	桑山 務	天 沼
	三原紀久惠	荻窪
	○杉原幸一郎	南荻窪
総務部	○船津まさ子	宮 前
	上田 昌子	清 水
	○熊谷 伸成	宮 前
事業企画部	○菊野 一雄	荻窪
センターカレッジ部兼	香取 真実	本天沼
	弘中 義夫	荻窪
	堀川 秀夫	天 沼
	竹田佳保利	荻 窪
	中山 靖之	南荻窪
	○杉浦 和子	荻 窪
地域交流部	○本田 良夫	天 沼
	小野美和子	南荻窪
	武山 尚道	清 水
	中島 圭子	宮 前
	西島 肇	荻 窪
	平沢 昌子	荻 窪
広報部	○西村 淳一	荻 窪
	伊藤久美子	南荻窪
	大石 正明	荻 窪
	三谷 啓子	上 荻
協議会の事務局長	齋木 雅之	—
事務局	岩井 智子	—
	鈴木喜代美	—
職 員		

## 講座などのご案内

※スケジュール変更の場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
「総集版 萩窓の記憶」発刊記念シンポジウムと地域懇談会	「萩窓の発展と変貌」をテーマに、冊子の執筆者の方々に、執筆された部分の概要を簡単に話していただきながら、萩窓エリアの近代史・現代史を中心としたシンポジウムと、地域の方々との懇談を行います。 講師:[萩窓の記憶]の執筆者・協力者	7月8日(土) 午後1時～3時30分	30名	無料	6月25日(日)
さいえんす縁日	多彩な出し物で、サイエンスと遊びの楽しい縁日です。小学生の皆さんへの参加を期待しています。親子での参加も大歓迎。プログラムは表紙イベント紹介を参照してください。協働先=くらりか、だがしや楽校、サンダイヤルカフェ、すぎなみシェアリングネイチャーの会、どこ竹等/対象:5歳～12歳	7月30日(日) 午後1時～4時	300名 (応募多数の場合は抽選)	100円	7月16日(日)
講談鑑賞会	夏のひと時、プロの講談師による講談の楽しさと迫力を楽しみましょう。 出演:神田山緑・一龍齋貞奈	8月12日(土) 午後1時～2時30分	30名	200円	7月30日(日)

【講座の申込方法】 往復はがきに加え、萩窓地域区民センター協議会ホームページからも申込ができます。

応募締切の数日後に結果をご連絡します。(往復はがきでの申込、ホームページでの申込とも応募者多数の場合は抽選です)

◆往復はがきの場合(1人1枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ、萩窓地域区民センター協議会(〒167-0051 萩窓2-34-20)宛申込みください。 ◆ホームページの場合(1人1件) 受講を希望する講座にアクセスし、フォーマットに沿って必要事項を入力し、申込みください。なお、ホームページの開催案内の掲載開始は、申込締切日の概ね1カ月前を予定しています。



### 開催報告

## ハーモニーを楽しむ ヴァイオリストレーニング

4月14日(金)

例年大人気の講座で、今年も20名の募集に対し、90名の参加申込がありました。コロナも一段落ということで、枠を30名に増やして対応しました。また、今年は男性の参加が多く、男女ほぼ半々の構成となりました。入念な準備運動から入り、正しい姿勢、呼吸法などを教えて頂きながら講座が進みました。1曲目は「しゃぼん玉」。先生の身振り手振りに合わせて、いきなり二部合唱です。お腹から声を出すように、柔らかい発声をするように、何度も注意がありました。2曲目は先生のピアノに合わせて「チム・チム・チエリー」で、二部合唱での半音階の練習のためとのことです。非常に中身の濃い講座で、あっという間に2時間が過ぎ、受講者の皆さんも満足されている様子で、あと三回が楽しみな講座でした。



### 開催報告

## 武蔵野の自然探訪 「善福寺の四季」

4月21日(金)

武蔵野三大湧水池の一つである善福寺池の木々と春の草花、コナラ、クヌギ、コブシ、ヤナギなどを観察しました。講師は、元東京農工大教授の星野義延氏と東京環境工科専門学校講師の星野順子氏で、二手に分かれ、善福寺池をまわりながら、お二人からそれぞれ丁寧な解説をしていただきました。



### 開催案内

## 「総集版 萩窓の記憶」 発刊記念シンポジウムと 地域懇談会

「萩窓の発展と変貌」をテーマに、冊子の主要執筆者(松井和男氏、丸川英明氏、木村まり氏、新倉毅氏)と協力者(杉並郷土博物館分館学芸員・市川実乃氏)の方々に執筆された部分の概要や発刊までの経過などを簡単に話していただきながら、萩窓地域の近・現代史を中心としたシンポジウムを開催し、後半は各班に分かれて地域の方々との懇談会を行います。



●日 時:2023年7月8日(土) 午後1時～3時30分

●場 所:萩窓地域区民センター 第1・2集会室

●講 師:[萩窓の記憶]の執筆者・協力者

## 郷土博物館分館 問い合せ:☎5347-9801

西棟2階展示室

## 「淡島雅吉のアトリエ」

～ガラスの「かたち」を求めて～

日本を代表するガラス工芸家で、商業デザイナーとしても活躍した淡島雅吉(1913～1979)。杉並のアトリエに残された作品や資料の数々を通じて、その多彩な活動を紹介するとともに、淡島がガラス作品に込めた思いを探ります。

【開催期間】令和5年3月25日(土)～6月25日(日)

- 場 所:杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1 天沼弁天池公園内)
- 開館時間:午前9時～午後5時
- 休 館 日:毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)
- 観 察 料:無料

## 萩窓地域区民センター協議会からのお知らせ

### 委員会の 日程

6月27日(火) 午後1時～ 会場:第1・2集会室  
7月25日(火) 午後1時～ 会場:第1・2集会室  
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。